

# 平成24年度 第58回 栃木県社会科教育研究会

第6学年提案 栃木県小学校教育研究会(社会科)足利支部

提案者 栃木県足利市立筑波小学校 柏瀬 順一

授業者 栃木県足利市立富田小学校 田名網 崇

研究主題「主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる社会科学習」

## 1 小単元名 政治って何だろう

### 2 学習指導要領の目標及び内容の分析

本小単元は、学習指導要領「社会」第6学年の目標(2)を踏まえ、内容(2)のアに基づいて設定されたものである。

目標(1)について

日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。

これは、日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方を理解できるようにし、内容の(2)及び(3)にかかわる理解と態度に関する目標を示している。理解に関する目標にある、「日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方」については、日常生活の中で見られる政治の働きについて具体的に理解できるようにすることや、我が国の民主政治の考え方が日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解できるようにすることにねらいがある。この目標を具現するためには、内容の(2)の指導を通して、国民生活の安定と向上を図るための政治の働きを理解できるようにするとともに、身近な日常生活における政治の働きへの関心をもつようにする。

内容(2)について

(2)我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。

「我が国の政治の働き」とは我が国の政治が民主主義の考え方に基づいて国民生活の安定と向上を図るために果たしている働きを示している。「次のこと」とは「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること」の二つを指している。これらは、我が国の政治の働きについて学習する際に調べる具体的な対象である。「調査したり資料を活用したりして調べ」とは、ここでの学習の仕方を示している。政治に関する学習は、ややもすると概念的、抽象的になったり、細かな用語や仕組み、数字などを覚えさせたりする指導になりがちである。ここでは、身近な具体的事例を取り上げて実際に調査したり資料を活用したりして、具体的に調べようとするのが大切である。「国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること」を考えるようにするとは、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを調べることによって、我が国の政治が国民生活と密接な関係をもっていることや、政治は国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大きな働きをしていることを、国民主権と関連づけて具体的に考えることができるようにすることである。

ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。

ここでは、我が国の政治の働きについて学習する際に、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考える手掛かりとして、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを調べる対象として挙げている。ここに示された事項について指導する際には、次のことをおさえる必要がある。

「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を調べるとは、市(区、町、村)や県(都、道、府)、国による社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの事例のいずれかを取り上げ、その事業が国民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを具体的に調べることである。社会保障については高齢者や障害者のための福祉政策、健康医療に関する事業、子育て支援事業などが、災害復旧の取組としては風水害、地震や津波、土砂災害、噴火などの災害に対する国や地方公共団体の救援活動や災害復旧の工事などが、それぞれ考えられる。これらのほかにも、公共施設の建設を取り上げることも考えられる。ここでは、これらの事業について、例えば、地域の人々や国民の願い、計画から実施までの期間や過程、規模や予算などを取り上げて具体的に調べるようにする。実際の指導に当たっては、児童の関心や地域の実態に応じて、調査活動を取り入れたり資料を活用したりして学習が具体的に展開できるようにすることが大切である。その際、国の政治の働きを具体的に理解できるようにするために、国会議員の選挙、国会の働きについて取り上げ国会などの議会政治の働きや選挙の意味を理解できるようにすることや、政治の働きと税金の使われ方の関係について取り上げ、租税の役割を理解できるようにすることが考えられる。

内容の取り扱い

(2)について、次のように取り扱うものとされている。

(2)

イ 国会などの議会政治や選挙の意味、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、国民の司法参加、租税の役割などについても扱うようにすること。

ウ アの「地方公共団体や国の政治の働き」については、社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの中から選択して取り上げ、具体的に調べられるようにすること。

イでは我が国の政治の働きの学習において、国会などの議会政治や選挙の意味、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、国民の司法参加、租税の役割についても扱うようにすることを示している。「租税の役割」については、国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によって納められていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする。

ウは内容(2)のアの「地方公共団体や国の政治の働き」についての学習において取り上げる事例の範囲と配慮事項を示したものである。政治の働きについての指導では、学習が抽象的にならないよう、また、調べる事例が網羅的にならないように、児童の関心や地域の実態に応じて、社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの中から事例を一つ選択して取り上げ、具体的に調べるようにすることが考えられる。社会保障を取り上げる場合、例えば、高齢者や障害者の介護、医療の充実、子育て支援などにかかわる具体的な事業を選択して取り上げ、市(区)役所や町(村)役場、県(都、道、府)庁が地域の実情を調べ、人々の願いを取り入れながら必要な政策を決定し、国と協力して計画的に実行していることなどを具体的に調べるようにする。たとえば、地域の開発を取り上げる場合、その事業について、計画から実施までの経過、規模や予算に着目し、その事業の実施に当たっては、市役所、県庁がそれぞれの地域の実態に応じて、住民の願いを取り入れながら、国と協力したり長期的な見通しを立てたりして、望ましい施策を決定し、実行していることを具体的に調べるようにする。

### 3 児童の実態（男子22名、女子17名 計39名）

#### (1)社会科への関心・意欲・態度について

本学級の児童は、学習に対して意欲のある児童とそうでない児童の差が大きい。近代史以降、歴史のほか政治や経済について興味をもち、社会科の学習に意欲的になってきた児童が増えた。歴史は、人が作っていくものであり、そこに政治や経済が絡み合っていることが面白くなってきたようだ。そして人々の生活にも政治や経済が深く関わっていることに気づき始めたようである。

#### (2)学習形態について

グループ学習は好きであるが、話し合いのリーダーがしっかりしていないと話し合いというよりおしゃべりが先行してしまう場合が多い。本単元では、一斉授業において、個人々の学習課題をしっかり掴ませた上で他の人の意見を参考にするという点でグループ活動を入れていきたいと考える。話し合いがうまくいくかは、個人々がどれだけしっかりと自分の意見を持てるかに関わってくると思うので、導入の段階で、課題意識を高めていきたい。

#### (3)対象児について

	よ さ
対象児A	社会科をはじめ、学習全般に興味・関心・意欲が高く、積極的に学習に取り組んでいる。また、話を意欲的に聞け、自分の意見も躊躇なく発表することができる。友達の意見もしっかり聞け、反対意見や気づいたことも自分の意見と対比させながら発表することができる。
対象児B	社会科への興味・関心が高く、課題に対してまじめに取り組むことができる。思考力があり資料を読みとる力も高い。自分の意見をまとめられ積極的に発表することもできる。インタビューなど進んでする方ではないが、自分がリーダーになったときなどは責任をもってやってくれる。

### 4 小単元の単元構想

#### (1)主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる教材の開発

##### ①単元で取得させたい知識・概念に対する問いが生まれる教材の開発

・本地区には、足利市の観光拠点であるフラワーパーク、栗田美術館があり、地域住民の生活と密接な関係があることを理解する。

##### ②子どもが主体的に関わり問題解決への意欲を高める教材の開発

・フラワーパークで藤の花が咲く頃に自分の家の人の行動や言動にどんな変化があるか考えさせる。そして、アンダーパスができる前と後で車の流れや生活に変化があったのかをインタビューや聞き取りにより調べる。

##### ③社会に生きる人間の姿を追求できる教材の開発

・藤の花が咲く頃は、何キロにも渡り道が渋滞し、周辺の住民は生活道さえも奪われ日々の生活に支障を来すほどであることから、渋滞の解消や一時期とはいえ生活が困難になる状況を少しでも緩和させてほしいという地域住民の願いを理解する。

・行政は地域住民の願いをどのように受け止め、どのような方策をとったのか知ることができる。

#### (2)主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる問題解決的な単元展開の工夫

##### ①考える内容（知識・概念）・方法の明確化と学習内容の構造化

・道路は公共のもので個人や地域が管理するものではなく、行政が管理していくものであり生活に不可欠なものであるから、行政が税金を使い地域住民の生活を守っていることを知る。

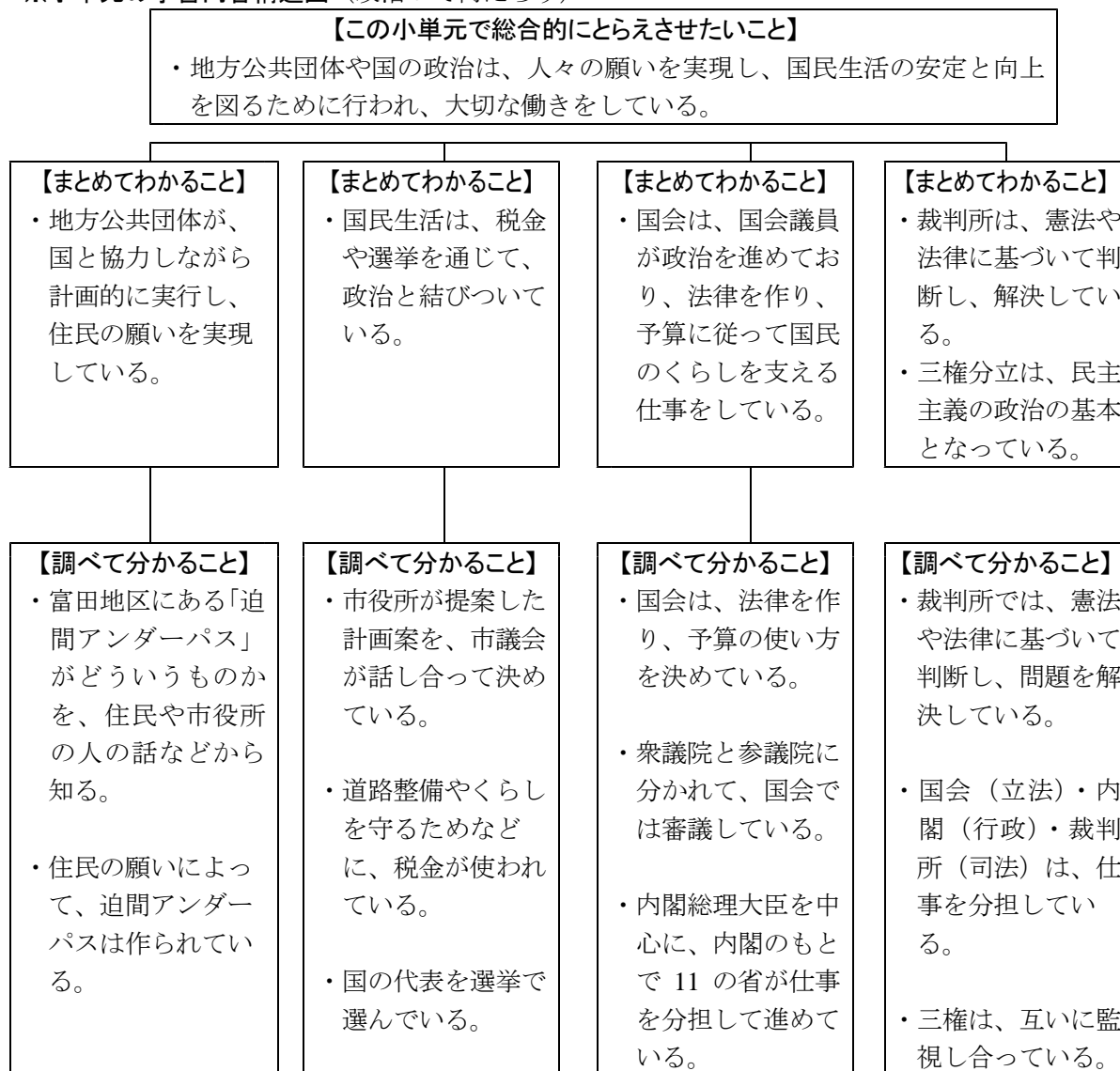
②子どもの学ぶ意欲を高め、考える力・表現する力を育てる学習問題・発問

- ・ 迫間アンダーパスの他に、登校時や遊びに行くときなどをもとに富田地区を振り返り自分を含めて家の人や地域の人が困っているところはないか考える。

③必要な情報の収集・読み取りを踏まえた思考・判断・表現の場の設定

- ・ 市のホームページから迫間アンダーパスの経緯や地域住民の要望書をもとにどんな内容で要望したのかを読みとる。
- ・ 住民の要望から、行政側の計画・実施までの期間や過程を調べ、予算などについても考えられるようにする。また、その予算が税金であることにも着目させる。
- ・ 地域の人をゲストティーチャーに呼び、アンダーパスができる前の様子を話してもらい、なぜアンダーパスが必要になったのかを理解するとともに住民の願いを共感的に考えられるようにする。そして、住民の願いを自分の言葉で表現する。

※小単元の学習内容構造図（政治って何だろう）



### (3)主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる学習活動と指導・支援及び評価の工夫

#### ①個での学びにおける指導・支援の工夫

- ・自分の実体験をもとに、「どうしたらいいだろう」「どうすれば解決するだろう」というような発想をするように支援し、自分本位ではなく、みんなの生活が豊かになるようにするにはどうしたらいいのかを自分の言葉でまとめるように支援していく。

#### ②学び合いにおける指導・支援の工夫

- ・自分の実体験は大切なことだが、お互いの不平不満に終始するのではなく、そこに住む住人の立場に立った考え方（たぶん～だったろう、きっと～にちがいない）ができるように支援する。

#### ③「社会的な思考・判断・表現」の評価の工夫

- ・話し合いでの見取りとともに自分の考えや意見をノートに書かせたり、作業用紙を活用し、ノートに貼らせたりすることで自分の学習過程を振り返ることができるようにする。

## 5 小単元の目標と小単元の評価規準

### (1)小単元の目標

人々の願いを実現する地方公共団体の働きや国の支援、国の政治の働き、国会・内閣・裁判所の働きと三権分立について、調査したり資料を活用したりして、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考えるようにする。

### (2)小単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用技能	社会的事象についての知識・理解
・国民生活の安定と向上を図るための政治の働きに関心をもって追究し、調べたことをもとに、日常生活における政治の働きへの関心を深めている。	・政治はどんな働きをしているのか、学習問題をもち、調べたことをもとに、政治は人々の願いをもとに行われていることをとらえて表現している。	・次のことがらについて、必要な情報を集め、まとめている。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">                     地方公共団体や国の政治の働き                      国会・内閣・裁判所と三権分立、国民の司法参加、税金                 </div>	・地方の政治も国の政治も人々の願いをもとに進められていること、国の政治は国会・内閣・裁判所の三権分立を基本として行われていることを理解している。

## 6 小単元の基本的な展開計画と評価計画

過程	時	ねらい	主な学習活動	評価
つかむ	1	○学区内にある公共施設や、道路などに関心を持ち、政治と市民の生活にはかかわりがあることに気づく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富田地区で最近便利になったものについて話し合う。(地図)</li> <li>・公共施設ができた理由や働きを話し合う。</li> <li>・政治の働きについて関心を持ち、富田地区のことを確認する。</li> <li>・ゲストティーチャー（市役所職員）の話から、行政と市民の生活には密接なつながりがあることを知る。 〈教師の支援〉</li> <li>・公共施設とはどんなものがあるかを知らせる。</li> <li>・行政が行うことには、税金が使われることを知らせる。</li> </ul>	○公共施設について、政治と市民の生活にかかわりがあることに気づくことができたか。

	2	○市役所では、市民の願いをどのように実現させているか、市役所職員の話から、学習課題を設定することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市では市民の願いをどのように実現させているかをゲストティーチャーの話から学習課題を考えさせる。</li> <li>迫問アンダーパスができるまでの経緯を考え、学習課題を立て、調べる計画を立てる。 〈教師の支援〉</li> <li>ゲストティーチャーの話を要約し知らせる。</li> <li>資料をもとに学習課題の焦点化を図る。</li> </ul>	○自分なりの学習課題を立てることができたか。
調 べ る	3	○調べる計画にそって、自分たちの課題を解決することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループに分かれて、調べ学習をする。 〈教師の支援〉</li> <li>地域の人をはじめ、相手の立場に立った考え方を進めるように話す。</li> </ul>	○自分たちの課題を解決することができたか。
	4	○調べてわかったことをまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを入れて、調べたことや資料をまとめる。 〈教師の支援〉</li> <li>図や表を用いてわかりやすくまとめるように支援する。</li> </ul>	○わかったことをまとめることができたか。
	5	○国民生活は、市や国の政治とどのように結びついているかを調べることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市や市議会はどのような働きをしているのか、また市の仕事やその費用が決められるまでの過程を調べる。</li> <li>税金の仕組みについて調べる。 〈教師の支援〉</li> <li>一人一人の税金がみんなを支えていることを伝える。</li> </ul>	○市や国の政治との結びつきを調べることができたか。
ま と め る ・ い か す	6	○国会の働きについて調べ、国会は法律を作ったり国の予算を決めたりすることを理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>国会の役割を調べる。</li> <li>法律や予算の決め方を調べる。</li> <li>国会のそのほかの仕事も調べる。</li> <li>国会が二院制をとっている理由を話し合う。 〈教師の支援〉</li> <li>国会では選挙で選ばれた議員が活動している。</li> </ul>	○国会の働きを理解することができたか。
	7	○内閣は、国会で決められた法律や予算に従って、国民の暮らしを支える仕事を進めることを理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>内閣とは何か、どのような仕事をしているのかを具体的に調べる。</li> <li>内閣の働きと国民生活とのつながりについて考え話し合い、内閣と国会の関係を調べる。 〈教師の支援〉</li> <li>内閣も国会議員も選挙で国民に選ばれた人であることを伝え、内閣の仕事も国民が責任を負っているということを意識させる。</li> </ul>	○内閣の仕事について理解することができたか。
	8	○裁判所は、憲法や法律に基づいて判断し、問題を解決する仕事をしていることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>裁判所の役割、裁判の持つ社会的な役割について話し合う。</li> <li>裁判を公正にする仕組みについて調べる。</li> <li>裁判所が内閣を監督する仕事をしているという意味を調べる。</li> <li>三権分立が民主主義の政治を進める上での基本とされる理由を調べる。</li> </ul>	○裁判所の役割について理解することができたか。

9	○調べたことをもとに、人々の願いを実現する政治の働きについてまとめ、政治について考えたことを自分なりに表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治の学習を振り返り、学習問題に対する答えを考える。</li> <li>・自分たちのくらしと政治の関係について意見を出し合い、自分の考えを深める。</li> <li>・学習したことの中で、他人に伝えたいと思ったことがらを自分なりの方法で表現する。</li> </ul>	○政治の働きについてまとめてみることができたか。
---	--	--	--------------------------

## 7 指導の実際

### (1) 取り上げた授業について

#### ① 本時の指導 (2 / 9 時)

ア 題目 迫間アンダーパスができるまでの経緯を考え調べる計画を立てよう。

イ 目標

・アンダーパスができるまでの経緯を予想することができる。

(社会的な思考・判断・表現)

・学習課題にあった調べる計画を立てることができる。

(社会事象への関心・意欲・態度)

学 習 活 動	時間	教 師 の 支 援	評価・資料
1. 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 <b>迫間アンダーパスができるまでの経緯を考え、調べる計画を立てよう。</b>	3	・前時の学習内容を振り返り、本時のめあてを確認して、意欲を高めさせる。	V T R
2. 迫間アンダーパスができるまでの経緯を考え、学習課題(グループ)を設定する。	1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーの話から、市役所(道路河川課)では市民の願いをどのように実現させているのかを想起させる。</li> <li>・なぜアンダーパスが必要であったのかを考えさせ、できるまでにはどんな経緯が(ステップ)あったのかを思い出させ、詳しく調べる学習課題を考えさせる。</li> <li>①住民の気持ちを調べるグループ</li> <li>②行政側の人に聞くグループ</li> <li>③財政面について調べるグループ</li> <li>④作り方を調べるグループ</li> </ul>	市の役割がわかったか。 (観察・作業用紙) 経緯が考えられたか。 自分の学習課題を決めることができたか。 (作業用紙)
3. 各グループの学習課題を調べる計画を立てる。	1 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで話し合い、調べる内容を決めさせる。</li> <li>①地域住民の必要性と心情がわかるように調べさせる。</li> <li>②行政が住民の心情をどう受け取ったのかを調べさせる。</li> </ul>	意欲的に話し合いに参加しているか。

		③どのくらいの費用がかかり、市の財政からこの事業の考えさせる。 ④アンダーパス以外の方法はなかったのか調べさせる。 どのようにアンダーパスを作ったのかを調べさせる。	
4. 本時の学習を振り返る	5	・調べる方法や内容を作業用紙にメモし、授業を振り返る。	調べる意欲を持てたか (作業用紙)

(2)授業の実際(単元計画レベル)




時数	対象児 A ・ 対象児 B ・ 全体の様子
1	<p>○富田地区で最近便利になったものについて話し合い、ゲストティーチャーから、迫間アンダーパスについて話を聞く。</p> <p><b>A児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモをとりながらゲストティーチャーの話をよく聞いていた。</li> <li>・地区の変化として、旗川（河川）の整備に気がつくことができた。</li> </ul> <p><b>B児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーの話を予算の金額までも、メモしながら聞くことができた。</li> </ul> <p><b>全体の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の変化として、信号機や新しい道路、歩道、公衆トイレなど身近な変化には気づいていた。</li> </ul>
2 (本時)	<p>○迫間アンダーパスができるまでの経緯を考え、学習課題を立て、調べる計画を立てよう。</p> <p><b>A児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新しい道の作り方」を調べる班のリーダーになり、話し合いを進めることができた。</li> </ul> <p><b>B児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「行政の仕事」を調べる班のリーダーになり、話し合いを進めることができた。</li> </ul> <p><b>全体の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そのほか「住民の思い」を調べる班「財政面」を調べる班に分かれて話し合った。</li> <li>・どの班もリーダーを中心に調べる項目やまとめ方をどうするかなどをはじめ、役割分担まで話し合うことができた。</li> </ul>
3	<p>○グループに分かれて、調べ学習をする。</p> <p><b>A児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで調べる班、インタビューをする班、資料から調べる班の3つのグループに分け、作業を進めることができた。</li> </ul> <p><b>B児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットで調べる人やゲストティーチャーの資料から調べる人を割り振り、調べる観点を指示しながら学習を進められた。</li> </ul> <p><b>全体の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班でまとめたり、リーダーの指示に従って調べ学習をしていた。</li> </ul>
	<p>○自分たちの考えを入れて、調べたことや資料をまとめよう。</p> <p><b>A児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストティーチャーが強調していた「やさしい道」について調べ、迫間アンダーパスではどの辺が優しい道になっているのか図を書いてまとめることができた。</li> </ul>



4	<p><b>B児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所（行政）の働きから調べ、住民と道作りの間に立って仕事をしていたことにふれることができた。</li> <li>・予算面など市議会の働きも重要であることに気づくことができた。</li> </ul> <p><b>全体の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの班も図表や写真を用い模造紙でまとめることができた。</li> <li>・若干、言葉が多くなってしまったが、色分けをするなど上手にまとめることができた班もあった。</li> </ul>
5	<p><b>○国民生活は、市や国の政治とどのように結びついているかを調べることができる。</b></p> <p><b>A児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が行うことには、税金が使われることがわかり、税金の種類が多いことを理解した。</li> </ul> <p><b>B児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙によって、首長や国会議員を自分たちが選んでいかなければならないことに気づくことができた。</li> </ul> <p><b>全体の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金がいろいろなところで払われていることがわかり、身近なことにも税金が使われていることに気づいた。</li> <li>・税金の種類が多さに驚いていた。</li> <li>・選挙については、あまり実感が湧いていないようだった。</li> </ul>
6	<p><b>○国会の働きについて調べることができる。</b></p> <p><b>A児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国会が「唯一の立法機関」であることがわかり、国会がないと国が成り立たないことを理解した。</li> </ul> <p><b>B児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国会議員の多さに驚いていた。</li> </ul> <p><b>全体の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二院制の意味をつかむことができた。</li> <li>・二院制は慎重に政治を進めるには必要であると気づき始めた。</li> <li>・国会が動かないと何も始まらないと思っている子もいた。</li> </ul>
7	<p><b>○内閣の働きについて調べることができる。</b></p> <p><b>A児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣は、たくさんの省庁で成り立っていることを理解した。</li> </ul> <p><b>B児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つ一つの省がとても大切な仕事ということを理解できた。</li> </ul> <p><b>全体の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き覚えのある省（文部科学省など）の働きを理解することができた。</li> <li>・よく耳にする「財務省」や「国土交通省」などの他にもたくさんの省があることに気づいた。</li> <li>・「内閣」と「政府」の違いを理解できた。</li> </ul>
	<p><b>○裁判所の役割について調べることができ、三権分立について知る。</b></p> <p><b>A児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裁判所には、いろいろな種類があることがわかった。</li> <li>・三権分立は、それぞれの権力を監視させるためのものだということがわかった。</li> </ul> <p><b>B児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三審制に関心を持ち、熱心に聞き入り理解できた。</li> </ul>

8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民に大きな権利があることがわかった。</li> </ul> <p><b>全体の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裁判にもいろいろな種類があることがわかった。</li> <li>・日本国憲法をもっと知っておくことが大切だと感じた。</li> <li>・裁判は何度も受けられるのではなく、3回までということがわかった。</li> <li>・国会・内閣・裁判所に仕事は分担されているけれど、大切なつながりがありそして、その仕事にふさわしいやり方をお互いに確認し合えるのは良いことだと思った。</li> <li>・三権分立があることによって国の法や政治が成り立っていることがわかった。</li> </ul>
9	<p>○人々の願いを実現する、政治の働きについてまとめる。</p> <p><b>A児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三権分立の仕組みに興味を持ち、自分なりの考えをまとめることができた。</li> </ul> <p><b>B児の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民主権について自分の感想を入れて考えることができた。</li> <li>・三権分立について、まとめることができた。</li> <li>・公共事業では、行政の役割が大きいということに気づきまとめることができた。</li> </ul> <p><b>全体の様子</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に文章で学んだことを書いている子が多かった。</li> <li>・最近学んだ裁判所や三権分立の記述が多くなっていた。</li> <li>・どの子も意欲的にまとめられていた。</li> </ul>

### (3) 授業の実際(本時:対象児AおよびB)

学習活動	時間	対象児 A	対象児 B
1. 前時の学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 <b>迫間アンダーパス</b> ができるまでの経緯を考え、調べる計画を立てよう。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の話をよく聞いて、前時までの学習の内容をふり返る。</li> <li>・教師の指示を聞き、めあてを写す。</li> </ul>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の話をよく聞いている。</li> <li>・掲示してある学区の地図を見ながら、前時の学習を振り返る。</li> <li>・めあてをノートに記入する。</li> <li>・「フラワーパークの渋滞に当たった人」と聞かれて挙手する。</li> <li>・前時の市役所の話のメモを見返して振り返る。</li> </ul> 
2. 迫間アンダーパスができるまでの経緯を考え、学習	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の問いかけに、自分のメモを出して見る。</li> <li>・他の子の発表を聞く。</li> <li>・挙手、指名されて発表する。</li> </ul> <p>「フラワーパークに来る人で渋滞になってしまう。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題をノートに記入する。</li> <li>・グループの中で、リーダーに推薦される。</li> <li>・リーダー役を引き受け、「テーマはどうする？俺が選んでいい？」と確認してから、【行政】</li> </ul>

課題（グループ）を設定する。

- ・教師の説明を聞きながら聞く。
- ・板書を写す。
- ・教師の「道を作る上で大切なことは」の問いに、挙手をする。
- ・指名され「安全」と答える。
- ・「道を作るときにどんなことを考えたか」の問いに、挙手をする。
- ・指名されて、起立する。
- 「線路の上に橋を作る」と答える。
- ・「なぜ、線路の下を通すことになったかを覚えているか」に、頷く。
- ・さらに、「覚えている人」と言われ、挙手する。
- ・教師が黒板にまとめた学習課題をノートに写す。
- ・教師の話真剣に聞いている。
- ・グループ分けの提案を黙って聞く。
- ・「グループで集まって、課題を決めてください。」の指示で、集まり、リーダーに立候補する。



3. 各グループの学習課題にそって調べる計画を立てる。

- ・「じゃあ、まず学習課題を何にする。」とみんなに問いかける。
- ・【新しい道の作り方】との発言を受けて、他の子にも意見を求める。2人続けて同意したところで「第一候補はそれでいい」と、グループのみんなに同意を求め、決定する。
- ・続いて、第二候補を聞く。「住人」という発言を聞き、みんなにそれでいいか確かめ、反対意見もなく決定する。

15

を選ぶ。

- ・他の班との話合いの上、希望通り【行政】について調べることになった。
- ・教師の説明（計画を立てるときの注意点）を聞いている。
- ・班をつくり、一番端の席に座る。
- ・話合いを始めたが、何から始めてよいか分からない様子。
- ・教師から市役所の人のお話のメモを参考資料として受け取るが、友達に渡す。
- ・何からすべきか分からず、動き出せない様子。
- ・メモを友達から受け取り、「じゃあ、まず情報をどうやって収集するかね。」と話す、あまり聞いてもらえない。
- ・教師からのアドバイス。「この班は、ゲストティーチャーが話してくれたときのビデオを、もう一度見てもいいよ。」
- ・「インターネットで調べてもいいんですか。」と教師に確認。

・「じゃあ、（調べる）項目を分けよう。」と司会をはじめめる。

①インターネットで調べる。

②ビデオを見る。

「この2つに分けるから。」と話し、役割分担を勝手に決めるが、班員から不満が出る。

・「時間で交代するか。」

「図書室は使っていいの？」

「メモをどうするのか。」など、班の中で様々な意見が出るが、司会としてどうまとめるのか迷っている様子。

・最終的に、調べる項目を変えず、

①インターネットで調べる

→4人

②ビデオを見る→5人（B児）に分かれる。

・班員より

「どんなまとめ方するのか？」と

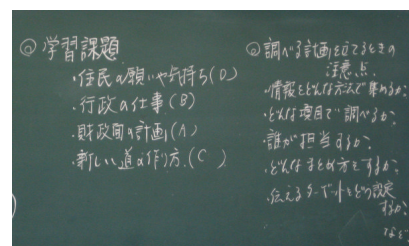
- ・教師の「代表来られますか。」の指示で教師の所へ。
- ・教師に、決まった課題を報告する。他のグループと重なっていなかったので「よっしゃ」とガッツポーズをする。
- ・教師と、他の班長とのやりとりを黙って聞く。
- ・「戻ってください。」の指示で、自席に戻る。
- ・次の活動の説明を真剣に聞く。
- ・教師の「わかりましたか」の問いに頷く。
- ・教師の「どうぞ」の声で席を立つ。
- ・机を動かし、他の子にも机を寄せるように促す。
- ・黒板を見て、何を話し合うか確認する。「まず、どんな方法で調べるか」とみんなに問いかける。「はい、はい、はい」と言った子を指名し、その発言（インターネット）に頷き、自分のノートに書く。
- ・「他には」と話し合いを進める。
- ・「パソコン」「本」という意見が出る中で「新しい道について知っている人は」と提案する。しかし、「知っている人って誰」と聞かれ舌打ちをして黙ってしまう。
- ・手を挙げた子を指名する。「インタビュー」の答えに、「一応書いておこう」と言いノートにメモをする。
- ・「他には」と言って周りを見る。
- ・「資料」と言う発言を取り上げ、みんなに復唱してノートに書く。
- ・「あとは」「ほかに」と言ってみんなを見回す。
- ・意見が出ないので、「次に」と言って黒板を見て「どんな項目で調べるか」と唱えながらノートを書く。
- ・他の子の問いかけに「例えば、新しい道ってどうやって作るのか、とか」と提案する。
- ・項目がよく分からないようで、周りの子に意見を求める仕草をする。
- ・項目について意見が出ないので、これまで出た方法を復唱して確認する。

- 聞かれ、  
「市役所の方は、こういうことをやっているというのを調べて、ノートにまとめていく。」と答える。
- ・班員より  
「ターゲットは？伝える対象の人は？」と聞かれ、  
「だから、市役所の人でしょ。」と答える。  
「知ってるのに伝えるの？」とつっこまれる。
- ・教師のアドバイスを受け、  
「同級生くらいの人に、自分たちの言葉で伝えよう」という確認をする。
- ・班員から、  
「司会の声が聞こえない」  
「真ん中の席に移動して話してほしい」と言われるが、心配な子が隣にいたため、移動せず。





- 「インターネット、インタビュー、資料」
- ・「インタビューはいつ行く」という発言で、誰が何をやるかという話し合いになる。
  - ・「インターネットで調べる人は」とみんなに聞く。自分も挙手をする。手を挙げている子の人数を数える。
  - ・「資料は図書室で調べる」
  - ・誰が、どの方法で調べるのかをみんなを確認してノートに書く。
  - ・「どんな項目」と再び、みんなに問いかける。しかし、他の子の反応はなく、調べる方法の確認に戻る。
  - ・「どんなまとめ方をするか」と聞く。
  - ・「どう言うの」と聞かれ、「模造紙とかでまとめたりとか」「あとは」「プレゼンとか」意見を言う子の方を向いて話す。
  - ・「先生が来たら聞こう」と提案する。
  - ・教師に「どんな項目で調べるかってどういうことですか」と聞く。
  - ・教師の「まとめを意識する」と言う話に「はい」と答える。
  - ・教師の説明を「はい」と言いながら真剣に聞く。
  - ・「まとめかたは、模造紙とプレゼンでいい」とグループの子に同意を求める。
  - ・「項目については、例えば橋にした場合の費用とか、やさしい道とはどういうものか調べよう」と提案する。
  - ・「この人数だからいっぱい調べられるよ」と他にも、調べることを出させようとする。
  - ・「あとなんかない」と意見を求める。
  - ・「アンダーの作り方」という意見を聞いて、ノートに書く。
  - ・「あとは何かある」と聞く。
  - ・「水がたまったらどうしよう」と言う意見に同意してノートに書く。
  - ・「水の処理の仕方」とまとめる。
  - ・出てきた項目を、独り言のようにつぶやきながら確認する。
  - ・「これでいいかな」とみんなに確認。
  - ・「2人か3人の一組で調べよう」と提案する。



迫間アンダーパス（南から）



4. 本時の学習を振り返る。	5 ・教師の指示で、振り返りカードに「よく話し合いができた」と書く。 ・書き終わったら、静かに他の子が書き終わるのを待つ。 ・教師の次時の予告を聞き、「よろしいですか。」の問いかけに「はい」と答える。	・本時の振り返りをプリントにまとめる。 ・「ぜんぜんできなかった。」とつぶやく。
----------------	---	---

## 8 考察

### (1) 主体的に社会と関わり、考える力・表現する力を育てる教材の開発

#### ① 単元で取得させたい知識・概念に対する問いが生まれる教材の開発

迫間アンダーパスは、公民館などのような公共の施設という意識を、児童は当初感じていなかったが、教師が地区の地図に公共的な施設を示していくと、迫間地区の児童から意見が出てきた。また迫間アンダーパスはフラワーパーク周辺の渋滞を緩和することが目的で作られたが、直接児童がその影響を感じることは少ない。しかし、家族などへのインタビューでその効果が表れていることは感じている。

またゲストティーチャー（市職員）から、住民の要望の他、足利市の観光拠点とされるフラワーパークと栗田美術館があることも建設される理由の一つであることを知り、校区にあるいろいろな施設が関わっていることを知ることができる教材であった。

#### ② 子どもが主体的にかかわり問題解決への意欲を高める教材の開発

迫間アンダーパスができたことで、フラワーパークが一番混む5月の連休頃の渋滞が急激に緩和されたわけではない。（その時期には、自治会の要望でアンダーパスは通行できないため。）しかし、信号ができたことで交通の流れに切れ間ができ、以前より流れに車が入りやすくなってきたことは、家族の話で分かってきた。さらに5月の連休以外は通行できることから、やはり周辺の交通状況を変えたことは事実で、児童の生活に関わっていることが次第に分かってきた。

さらに迫間アンダーパスを取りあげたことで、ゲストティーチャーから、国の補助金を意識することができ、単元全体の導入としてはふさわしいものになったと思われる。

#### ③ 社会に生きる人間の姿を追究できる教材の開発

ゲストティーチャーの話や市のHPから、迫間アンダーパスは急にできた施設ではなく、次の事ながらを踏まえて建設されたものであることを、児童は知ることができた。

ア 毎年起きる交通渋滞の実情

イ 何度も出された自治会からの要望書

ウ 国からの補助金

特に、校区には市議員がおらず、議会での提案の機会の少ない地区にあって、②の要望書は何度も行われていることは、行政（市）に意見を伝える有効な手立てである。住民の切なる願いが、具体的な形となったことで、地域の人々の動きを認識することができたと思われる。

また、市が行ったアンダーパス建設の際、JR両毛線の線路部分については、JRが直接施工したという。道路を造るとともに、線路をくぐることから、他の機関と関わっていることを知ることができた。

### (2) 主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる問題解決的な単元展開の工夫

#### ① 考える内容（知識・概念）・方法の明確化と学習内容の構造化

単元構造図については、すでに記載しているとおりで、前半の政治の流れの学習と後半

の国会・内閣・裁判所および三権分立などの学習が分断されやすい単元である。しかし、迫間アンダーパスを導入で扱うことで、次の項目に関わることができた。

- ア 住民の要望から市が建設を提案し、予算を市議会で検討し、建設された施設で、政治の流れに沿って建設が進められている。
- イ 建設のきっかけとなった事さらに、国からの補助金があり、市の費用も含めてそれらは本来税金から支出されている。
- ウ 税金は議会（市や国会）で審議されて予算として決まり、使われた後は再び議会で決算として認められること。
- エ 建設は市が行い、行政（市）の具体的な姿を見ることができたこと。

迫間アンダーパスを学習することによって、単元の後半の学習内容と関連づける構成となった。

### ②子どもの学ぶ意欲を高め、考える力・表現する力を育てる学習問題・発問

迫間アンダーパスについて調べようという学習問題に対して、児童はゲストティーチャーの説明を基に、調べてポスターに仕上げてまとめることができた。内容については、教師側から以下の4つの項目を示すことで、作業を分かりやすくすることができた。

- ア 住民の気持ちを調べる—— 地域住民の必要性和心情がわかるように調べさせる。
- イ 行政側の人に聞く —— 行政が住民の心情をどう受け取ったのかを調べさせる。
- ウ 財政面について調べる—— どのくらいの費用がかかったか、市の財政面からこの事業を考えさせる。
- エ 作り方を調べる—— アンダーパス以外の方法はなかったのか調べさせる。  
どのようにアンダーパスを作ったのかを調べさせる。

### ③必要な情報の収集・読みとりを踏まえた思考・判断・表現の場の設定

残念ながら住民をゲストティーチャーとすることはできなかったが、家族などの話からおおよそ交通渋滞に関することを児童は知ることができた。

今回は単元の第1時に来校してもらったゲストティーチャーにアンダーパスの経緯だけでなく、行政（市）の仕組みについても話してもらったことで、児童が多く情報を記録することができた。さらに、説明用資料も教師に渡されていたので、教師が児童に必要な場面で解説することができ、児童が正しい情報を確認することができた。そのため、児童は国会、行政や裁判所を教科書で学ぶ前に、それらの事をおおよそ知ることができた。特にポスターにまとめる際に、メンバーで話し合う場面ができ、そこで考え、判断し、表現する流れが自然とできたといえると思われる。

## (3)主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる学習活動と指導・支援及び評価の工夫

### ①個の学びにおける指導・支援の工夫

周りに気を遣いすぎる本児童達に、担任は作業の中で自分ができることはどんな役割かを考えさせるようにしている。そこで最初に自分の言葉で考え、決め、記録していくことから始めさせた。そのため、毎時間ごとに横罫の作業用紙を用意し、ノート代わりに学習内容を記録させた。そして、その最後にまとめの欄を用意し、そこに内容のまとめや授業の感想を書かせて、自分の学習の積み重ねとさせた。これにより、自分が学習したことがわかるとともに、意欲的に学習した内容や作業をふり返ることができた。

このことで自分のやってきたことに自信をもち、この後のまとめの協同作業における自分の役割を意識することができ、分担しながらポスターなどの制作を進めることができた。

### ②学び合いにおける指導・支援の工夫

まずは、調べたり、まとめたりする4グループのリーダーを自分たちで決めた。そしてリーダーは同じグループのメンバーの作業を振り分けることができた。もちろんメンバーが即従うわけではないが、リーダーは10人近いメンバーの様子を把握し、メンバーも自

分が選んだリーダーの言ったことにしっかり応えようとしていた。これは入学以来の単級クラスであることや、本校区が人の出入りの少ない地域の学校だからこそできることも知れない。

担任も児童のために、資料の提供や作業のアドバイスなどを行い、児童がそれぞれのグループで生かされるように支援した。これらのことで、児童はグループごとに特色のある調べ学習のまとめをすることができた。

### ③「社会的な思考・判断・表現」の評価の工夫

児童の評価をするために、前述の作業用紙を活用する。この中では学習内容の記録の他、毎回感想も書くことができ、その中で社会的な思考・判断・表現などについての見取りを担当が行う。朱書きなどは行わなかったが、作業の中で児童本人に声かけをして、自信を持たせた。自分で考えて、必要な学習を判断し、それらを記録した作業用紙は児童一人一人異なり、ノートとはまた異なる記録用紙となっていた。この作業用紙をもとに、児童はそれぞれのグループの内容に沿ってポスターなどのまとめを行い、創意工夫をこらした制作が行われた。

## 9 研究の成果と今後の課題

### (1) 研究で明らかになったこと

#### ① ゲストティーチャーの話や持参資料の有効活用

- ・ 行政の仕組みや具体的な取り組みを、地域の公共施設の建設までのプロセスの説明の中で分かりやすく行うことができた。講話の時だけでなく、持参した資料も充実しており、次時に道路を調べる段階で、教師側が意図的に再提示することで、必要感に応えることができた。同時に、教師が関わることで説明もすることもできた。
- ・ 講話の中で、工事の費用がどこから支出されているかを知ることにより、税金の使われ方の例を知ることができた。またそれを出すためには、市議会の決定が必要であること、そして実際に行動する行政についてまでの話題を提供していただいた。そのため、児童は一つの具体例の中で、これから学習する内容について知ることができ、自分たちのこととして政治を考えるきっかけとなった。

#### ② 教師の意図的な発問によるテーマ設定とまとめるにおける児童の工夫した言語活動

- ・ 政治という概念をとらえるために、校区内のアンダーパスを具体例として学習する際、社会科学習のねらいを達成するため、4つの項目を調べるようにした。これは一方的に教師側から提案するのではなく、ゲストティーチャーの話に基づき、児童が調べられるとともに、政治を知るために必要な事柄を、児童と確認しながら提示した。
- ・ ゲストティーチャーの話は、網羅的で多くの情報を含んでいたことから、そのままでは児童が整理・理解するためには、教師の支援が必要である。しかし、児童に視点を与えることで、調べる方向性が定まった。また、児童も調べる内容や自分たちの得意な方法によって、壁新聞にまとめる表現の仕方を工夫することができた。

### (2) 夏季大会で討議して欲しいこと

#### ① 公民的な内容における「政治」を理解するための、具体的な事例の教材化

- ・ 政治を6年生で初めて学習することを考慮した、具体的な事例やそのための方策を教えて欲しい。

#### ② 公民的な内容（主に政治や日本国憲法に関わる学習）における、充実した言語活動の具体的な事例

### (3) 今後の課題

- ① 「政治」を理解するために、学習をどのように進めていくか。そしてそのための手立てについて。
- ② 公民的な内容における、ゲストティーチャーの効果的な活用の仕方。



## 評

栃小教研社会科教育足利支部は、栃小教研のテーマに合わせ、「主体的に社会とかかわり、考える力・表現する力を育てる社会科学習」を研究主題とし、本年度が研究の第1年次として実践研究を進めてまいりました。具体的には、学習過程の「つかむ」段階に重点を置き、「教材の開発」と「単元展開の工夫」を関連付けて、子どもの考える力・表現する力を育てるための工夫について研究を深めていただきました。

本研究は、「迫間アンダーパス」を地域の事例として取り上げ、自分たちの生活と関連付け、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考えていくことをねらいとし、授業実践されました。研究の成果を述べさせていただきます。

### ○ 教材の開発

子どもの実態から、授業を組み立てることが大切です。そして、子どもの関心・意欲が高まり、ねらいが達成できる題材を選ぶことも大切です。富田地区には、フラワーパークがあり藤の花が咲く時期は道路が渋滞すること、JR両毛線も通っており、踏切もそう多くはないことを子どもたちは生活の中で体験しています。「アンダーパス」の存在は、住民の願いからつくられたものだという意識を持っている子どもは多くないと思います。そこで「アンダーパス」ができた背景を調べ、政治の働きについて考えさせることができる題材でした。

### ○ 学習過程の工夫

さらに、「アンダーパス」ができるまでの経緯を考えさせました。道路が地域の人々の願いがもとでつくられていること、管理しているところ、行政の役割、財政面について具体的に調べ、それぞれの立場から、自分たちの言葉でまとめました。このことは、考える力、表現する力の育成につながります。

また、身近のことを題材にして、地方公共団体の政治のしくみや働きについて学習することができ、住民の願いによって政治が進められていることがわかる学習過程でした。そして、国会、内閣や裁判所の働きが、自分たちの生活とつながり、政治が国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考えることができる単元計画になっていました。

社会科は現代社会を基盤にして考え、人と人とのかかわりを通して学習問題を追究していく教科でもあります。クラスにいる子どもも、社会の一員であります。

本研究は、子どもの実態、地域の実情をしっかりとらえ、「迫間アンダーパス」を題材にして、地方公共団体、そして国の政治の働きを考えさせることができるよう、単元のねらいをしっかりと押さえて授業が展開されました。これからも、単元を通じて、社会科でつきたい力を育成する場面を設定し、指導と評価の一体化をめざしながら、実践的な研究をさらに深めていただきますようお願いいたします。